



東北大学

瀬川昌久先生退休記念論集
出版記念シンポジウム



規範と模範

東北アジアの近代化とグローバル化

規範と模範という視点から東北アジアを眺めると、近代化とグローバル化という合理的な模範と模範の導入によって、伝統的な規範と模範が解体し、新しい社会共生の規範と模範が生成される過程が見える。急速な近代化に迫られたアジア諸国では、日常生活の中に近代的価値観が浸透するにつれて、様々な葛藤や軋轢、矛盾を生み出した。ただし、規範と模範の刷新に対して、人々は唯々諾々と従いつづけてきたわけではなく、戦略的に流用するという柔軟性も見せてきた。とりわけ近代社会で公的に活躍する機会がなかった女性たちは、しばしば、新たな規範や模範を積極的に内面化し、模範として評価されることを誇りとした。こうした自己犠牲的な献身で近代国家の形成に尽くそうとした女性たちの姿は様々な事例から確認できる。本シンポジウムでは、表彰制度としての模範と規範、規範と模範の積極的な受容、規範と模範の多元化という3つの側面から東北アジアの近代化とグローバル化の諸相を探る。

- 13:00 ~ 13:10 開会のあいさつ
- 13:10 ~ 13:20 趣旨説明 高山陽子 (亜細亜大学)
- 13:20 ~ 14:00 発表①中村知子 (茨城キリスト教大学)
「カザフスタンに“いきる”労働英雄
—地域における“模範的人物”の通時的経験より—」
- 14:00 ~ 14:40 発表②稲澤努 (尚絅学院大学)
「中国における模範的人物の活用
—広東省高州における英雄冼夫人を事例として—」
- 14:40 ~ 15:00 休憩
- 15:00 ~ 15:40 発表③兼城糸絵 (鹿児島大学)
「移民が生み出す新たな規範
—中国福建省における顕示的消費の事例から—」
- 15:40 ~ 16:00 コメント①曾士才 (法政大学)
- 16:00 ~ 16:20 コメント②瀬川昌久 (東北大学)
- 16:20 ~ 16:50 質疑応答
- 16:50 ~ 17:00 閉会のあいさつ

日時

2023年
3月
18日
土

オンライン開催

Zoom

13:00
↓
17:00

3/11
登録締切

登録はこちら↓



参加無料 | 要事前参加登録



主催：東北大学東北アジア研究センター
共催：仙人の会

問合せ先 東北大学 東北アジア研究センター

〒980-8576 仙台市青葉区川内41 TEL: 022-795-6009

Eメール: hitroki.oka.b7@tohoku.ac.jp

※Zoomのアドレスは後日参加申込者に連絡いたします